

特別講演 2

「医療市場への競争原理の導入 2008」

横浜市立大学医学部大学院 医学研究科教授

ニュージャージー州立大学医学部 客員教授・附属病院指導医

石川 義弘 先生

後期高齢者医療制度がついに実施の運びとなりました。新聞マスコミでなにかと騒ぎになっておりますが、よくよく内容を検討すると、米国の老人医療制度に酷似した部分が随所に見受けられます。これは何を意味するのでしょうか？本制度の未来はアメリカ型医療保険制度の導入なののでしょうか。なにかにつけ“格差”が流行語になっていますが、格差社会の原因となっているのがアメリカ型市場原理の導入による競争主義の台頭だといわれていますが、我々医療の世界にもアメリカ型市場主義が押し寄せようとしているのでしょうか。医療関係者はこの流れに対してどのように対処すべきでしょうか。市場主義は恐れるべきか、歓迎すべきものか、どちらでしょうか。アメリカ型市場原理に対する恐れがあるとすれば、それは我々がその副作用と有効性を熟知していないだけかもしれません。我々がすべきことは、市場原理が生み出す功罪を知ることではないでしょうか。そして来るべき市場原理に賢く対処する方法を考えていくことではないでしょうか。